



2023 年 D1Grand Prix Rd.5&6 EBISU 参戦報告書



SHIBATA
RACING TEAM

参戦車両

車両：INFINITI Q60
エンジン：VR38 4100cc 1000hp
タービン：HKS GT2
コンピューター：LINK
ミッション：ALBINS
タイヤ：SHIBATIRE REVIMAX R23 255/35R19(Front)
SHIBATIRE REVIMAX R23 285/35ZR20(Rear)
ホイール：SHIBAHWHEEL 19 インチ off +25(Front)
SHIBAHWHEEL 20 インチ off +12(Rear)
エアロ：SHIBATA
足回り：車高調 JIC ナックル WISEFAB
キャリパー ENDLESS



ドライバー

蕎麦切広大

1996 年 3 月 22 日生 (27 歳)

神奈川県出身

身長：165cm

参戦レース：D1GP、Formula Drift Japan

2023 年 D1GP (Rd.5&6 終了時点)
ドライバーズランキング 5 位
単走シリーズランキング 4 位

実績

2018 年 9 月 ドリフトキングダム Rd.6 チャレンジエキスパートクラス 準優勝 D1LIGHTS 出場権獲得

2019 年 3 月 MSC チャレンジ Rd.2 エキスパートクラス 優勝 FORMULA DRIFT JAPAN 出場権獲得

2019 年 D1LIGHTS 年間ランキング 13 位 D1GP 出場権獲得

2020 年 D1GP ドライバーズランキング 18 位 単走シリーズランキング 13 位 シリーズ新人賞受賞

2021 年 D1GP ドライバーズランキング 14 位 単走シリーズランキング 9 位 第 7 戦 単走優勝

2022 年 D1GP ドライバーズランキング 7 位 単走シリーズランキング 2 位



参戦車両

車両：GR86
エンジン：2JZ 3400cc 940hp
タービン：HKS GT2
コンピューター：LINK
ミッション：ALBINS
タイヤ：SHIBATIRE REVIMAX R23 265/35R18(Front)
SHIBATIRE REVIMAX R23 285/35ZR19(Rear)
ホイール：SHIBAHWHEEL 18 インチ off +25(Front)
SHIBAHWHEEL 19 インチ off +12(Rear)
エアロ：SHIBATA
足回り：車高調 JIC ナックル WISEFAB
キャリパー ENDLESS



ドライバー

日比野哲也

1974 年 4 月 10 日生 (49 歳)
愛知県出身
身長：181cm
参戦レース：D1GP、Formula Drift Japan

2023 年 D1GP (Rd.5&6 終了時点)
ドライバーズランキング 4 位
単走シリーズランキング 10 位

実績

2018 年 D1CHINA 単走シリーズチャンピオン 追走シリーズチャンピオン
2019 年 DCGP(中国) 単走シリーズチャンピオン 追走シリーズ 2 位
RDS GP(ロシア) 総合シリーズ 3 位
2020 年 D1GP ドライバーズランキング 4 位 単走シリーズランキング 5 位
2021 年 Formula Drift Japan シリーズランキング 3 位



採点資料

D1 独自の機会採点システム DOSS が採点の基準

発足初年度から審判員による主観採点を採用してきた D1 グランプリシリーズだったが、より公平で公正な採点方法を求めて機械採点システムの開発を進めていた。

そして長い開発期間と試験期間を経て 2013 年からシリーズ戦へと導入されたのが、D1 独自の機械採点システムである『D1 オリジナルスコアリングシステム (通称 :DOSS= ドス』だ。DOSS では、走行マシンの車速や角度、そして角度の安定性や振り返りの鋭さなどを数値化して得点化。わずかな車速変化や角度の乱れが特典に影響することもあり、これまでよりも繊細かつスムーズなドライビングが要求されるようになった。そして、DOSS の得点化プログラムは最適化されつつ年々進化していき、2019 年からは追走にも導入されることとなった。先行車は単走とおなじようにハイレベルな走りが要求され、後追いもただ接近すればいいだけではなく、DOSS の得点が出せる走りが要求される。追走でも DOSS が導入され、ここがさらに洗練されていくことで、D1 グランプリシリーズは新たなステージへと進化する。

単走 指定ゾーンの追加で視覚的に走りの良し悪しが判別可能に

単走での採点は、競技区間を振り出しや旋回、振替しといった 4~5 つのセクターに分割し、それぞれの重要度によって第 1 セクターは 30%、第 2 セクターは 20% というようには配分が決定され、すべてのセクターの合計が特典となる。

また、2018 年からはコース内であればどのようなラインを通過しても原点されることはなかったが、2019 年からはコース上に数ヵ所の指定ゾーンが設けられ、ここを通過しなければいけなくなった。

つまり、理想的なラインを通過することが高得点を出すことにつながるのはこれまで通りなものの、指定ゾーンを追加することで視覚的にも良し悪しがわかりやすくなった。なお、指定ゾーンを通過できなかった場合の原点はマイナス 1 点 ~3 点。ほかにも、振り出し時の 2 度降りやドリフトアンダーはマイナス 5 点、コース外走行は 1 輪 ~ 2 輪の場合はマイナス 2 点で、3 輪 ~ 4 輪の場合はマイナス 5 点という原点。J1 ~ J3 区間での円滑さを欠く走行やコース上の設置物への接触なども減点の対象となる。選手たちにとってはこれまで以上に繊細なマシンコントロールが要求されるようになった。



DOSS の導入で後追いはよりレベルの高い走りが求められる

追走では、単走とおなじく車速や角度に安定度といった要素が求められる先行車に対し、後追い車はどれだけ合わせつつ接近できるかが求められる。

単走とおなじ要素が評価項目となるため、これまでも先行車両には DOSS で算出された得点がベースとなっていたが、2019 年シリーズからは後追いにも DOSS の得点がベースとして採用され、これに接近度といった項目を審判員が主観で判断した得点を合計し、それが後追い車の総合得点となる方式となった。

後追い車は、車速や角度に安定度といった要素を揃えつつ接近しなければいけないということは変わらないものの、DOSS が採用されたことによってその基準がよりシビアに。角度のないまま接近すると、接近ポイントは与えられるものの、DOSS 得点が低くなって勝てないし、DOSS 得点を狙って相手から離れて自分のドリフトをしても、接近加点が取れないので勝てない、となる仕組みだ。

後追い車の接近ポイント (コースにより 6~12 点) は、先行車との距離に応じてセクターごとに付与される。また、後追い車が先行車から離れすぎて接近ポイントがまったく得られなかった場合はノーグッドチャレンジ (先行者に接近できていない状態) と判断されることがあり、その減点はマイナス 2 点となるため、つねに攻めることも要求されるようになったのだ。

No.31 蕎麦切広大

Rd.5 8/26(土) 天候 晴

公式練習日

エビス西コースでの開催となる D1GP Rd.5 Rd.6 です
去年行ったバンクコースではなく従来のレイアウトのコーナーを使用するラウンドとなります。
練習走行では完全に DOSS を攻略は出来ませんでしたがある程度の点数は安定して出せる状態までもっていき予選に挑みます



Rd.5 8/26(土) 天候 晴

単走 1 本目

まずしっかり点数を入れる走りを心がけて走りましたが 3 アウトゾーンでリヤタイヤがコース上から出てしまうミスをしてしまい減点が入りました。

31 K. SOBAGIRI				RANK
ZONE	LINE OFF	JUDGE AREA	Sec. Point	18
			30.19	151.63 km/h 96.3
			19.31	
			19.18	
			10.16	
			19.48	
	S5			
PENALTY				

単走 2 本目

1 本目でミスしてしまいましたが抑えて走ると DOSS 点が大幅に下がってしまうので攻めの姿勢を忘れずに走りましたが 3 アウトゾーンを通過する時にアウトゾーンを引いてる石灰の真上にタイヤを乗せてしまい通常のグリップ力を失ってしまひさかのハーフスピンしてしまいました。その結果予選敗退となりました。

31 K. SOBAGIRI				RANK
ZONE	LINE OFF	JUDGE AREA	Sec. Point	1
			30.42	168.16 km/h 94.1
		S2	19.30	
Z3			9.10	
			20.05	
			19.18	
PENALTY				

Rd5 では自分との戦いに負けてしまい予選を通過する事が出来ませんでした。
翌日に控えた Rd6 に向けてしっかりと単走と追走共にしっかり復習して気持ちを切り替えていきます。
応援して頂いている皆様すみませんでした。



No.18 日比野哲也

Rd.5 8/24(木) 天候 晴

前々日練習日

30分×3の練習走行がありました。足回りのセットは、筑波戦のままで走りました。パワステのトラブルが解決できていないので、まずチェック走行からのスタートでした。ファイナルギアの変更をして、走りやすいギア比を探しました。



Rd.5 8/25(金) 天候 晴

公式練習日

1回目の練習では、ラインの確認とギア比の確認をしました。2回目の練習でデフが壊れててしまい、2回目3回目の練習が走れず終了になってしまいました。その後、デフ交換して直していただきました。公式練習では DOSS の点数の確認ができなかったのが、心配で心配でぐっすり眠れませんでした。

Rd.5 8/26(土) 天候 晴

朝練習として2周走れました。前日のトラブルは無事に直っていて、単走本番は走れそうでした。

単走1本目

練習の時よりも車速が伸びず、ラインが小さくなってしまいミス。

18		T. HIBINO		RANK
ZONE	LINE OFF	JUDGE AREA	Sec. Point	147.39 km/h
			30.06	96.5
			19.03	
			18.64	
			10.10	
			18.70	
PENALTY				

単走2本目

ラインを重視して走れたが、3ゾーンでフラついてミス。
14位で予選通過しました。

18		T. HIBINO		RANK
ZONE	LINE OFF	JUDGE AREA	Sec. Point	150.54 km/h
			29.53	97.1
			19.17	
			19.04	
			10.01	
			19.30	
PENALTY				

追走 Best 16 対戦相手 S選手

後追いからのスタート。全く付いて行けず5セクターで追い付きましたが、接触してしまいました。アドバンテージ取れましたが、ホイールが割れてしまいアライメントが狂ってしまいました。そのままS選手のリタイヤで勝ち上がりました。



追走 Best 8 対戦相手 田中省己選手

先行からのスタート。問題なく良い走りでしたが、フルマークの15ポイント取られ97:111でアドバンテージ取られました。入れ換えて後追い。進入から追い付けず、97:98.5でした。合計で、195.5:208で敗退しました。【結果 8位】



No.31 蕎麦切広大

Rd.6 8/27(日) 天候 晴時々雨

前日の Rd5 で色々な選手の走りを見てしっかり勉強して挑みます。
練習走行では安定して走行する事が出来ました。



単走 1 本目

練習時と近い走りをする事が出来て 97.8 点を獲得しました。

31 K. SOBAGIRI				RANK 5
ZONE	LINE OFF	JUDGE AREA	Sec. Point	152.75 km/h
			29.98	97.8
			19.06	
			19.19	
			10.01	
			19.53	
PENALTY				

単走 2 本目

更に点数を上げようと走りましたが 1 コーナーでラインカットをしてしまいマイナス減点が入った為 1 本目の点数で予選を通過することができました。

31 K. SOBAGIRI				RANK 5
ZONE	LINE OFF	JUDGE AREA	Sec. Point	152.61 km/h
	S1		29.83	96.5
			19.68	
			19.12	
			9.94	
			19.95	
PENALTY				

追走 Best 16 後追い 対戦相手 森孝弘選手

追走前に急に雨が降り予選時はドライでしたが急にウェット路面での走行となりました。後追いスタートでしたのでしっかり後追いポイントを取る走りをしようと走行したら先行の森選手がスピンした為大きくアドバンテージを得る事が出来ました。



追走 Best 16 先行対戦相手 森孝弘選手

先行ではミスなく走り切る事ができ、勝利しました。



追走 Best 8 後追い 対戦相手 松山北斗選手

しっかりと後追いポイントを取りに行きましたが少し煙で視界がない状態になり少しミスはありましたが後追い 10 ポイントを得る事が出来ました。



追走 Best 8 先行対戦相手 松山北斗選手

先行では自分のベストの走りをしましたがそれに対して松山北斗選手が近い距離で走りきりました。
その結果敗退してしまいました。



Rd5 の予選敗退からしっかり気持ちを切り替えて全力で走りましたが勢いのある松山北斗選手に力及ばず負けてしまいました。
悔しい結果ではありましたが Rd6 では今できる全力を出して走れました。
まだシリーズ争いにも入ってますので次戦は僕も得意なコースのオートポリスで行われます。
去年は優勝出来ませんでしたが、今年こそ優勝目指してチーム一丸となり頑張ります。今戦も応援して頂きありがとうございました。

No.18 日比野哲也

Rd.6 8/27(日) 天候 晴れ時々雨

公式練習日

前日の状態から、パワーを上げていただきました。



Rd.6 8/27(日) 天候 晴れ時々雨

単走 1 本目

ラインを重視して減点されない様に走りきりました。

18 T. HIBINO				RANK 6
ZONE	LINE OFF	JUDGE AREA	Sec. Point	151.62 km/h 97.4
			30.11	
			19.15	
			18.65	
			9.82	
			19.66	
PENALTY				

単走 2 本目

一本目よりも高得点狙いましたが、ラインが大きくできず単走 14 位で予選通過。

18 T. HIBINO				RANK 7
ZONE	LINE OFF	JUDGE AREA	Sec. Point	154.29 km/h 97.2
			29.85	
			19.43	
			19.45	
			9.95	
			18.48	
PENALTY				

追走 Best 16 対戦相手 北岡 裕輔 選手

後追いからのスタート。北岡選手が 2 セクターで流されたので、付いていかず走りきりアドバンテージ取りました。46:67.5 先行ではミスなく走りきり、103.5:96。合計 149.5:163.5 で勝ち上がり。



追走 Best 8 対戦相手 田中 省己 選手

先行：昨日よりも馬力が上がってるので、リアタイヤのエア圧を落としてグリップを上げました。良い走りをして、98:106.5 でアドバンテージ取られました。後追いではグリップ上げてるので、とても良い追走ができ 106.5:97 でアドバンテージを取りました。合計 204.5:203.5 で勝ち上がり。



追走 Best 4 対戦相手 藤野 秀之 選手

後追いからのスタート。進入から近い追走ができて、98:110.5 で 12.5 のアドバンテージ取りました。その後に大雨が降ってきて、中断になりました。突然のウェット路面での先行を走りオーバーランしてしまい 101:74 でアドバンテージ取られました。合計 199:184.5 で敗退しました。



今回の 4 日間でトラブルはありましたが、メカニックがしっかり修理してくだり最後まで走りきれました。

問題のパワステが直ったので、安心して走れる様になりました。

次戦からは、足回りのセッティングを進化させたり、グリップを上げて走れる様にしていけます。

今回は表彰台に上れませんでした。残りの 4 戦で全部優勝狙って頑張りたいと思います。

2023年D1グランプリシリーズランキング

2023年ドライバーズランキング

Rank.	No.	Driver	Team	Car
1	66	藤野 秀之	TEAM TOYO TIRES DRIFT	GR86
2	77	松山 北斗	+LenoRacing watanabe	GR SUPRA
3	2	田中 省己	SHIBATIRE RACING SEIMI STYLE D	SILVIA
4	18	日比野 哲也	SHIBATIRE RACING	GR86
5	31	蕎麦切 広大	SHIBATIRE RACING	Q60
6	70	横井 昌志	D-MAX RACING TEAM	SILVIA
7	99	中村 直樹	TEAM VALINO × N-style	GR86
8	15	植尾 勝浩	VALINO VAZESTRA	SILVIA
9	98	ヴィトー 博貴	DRIFT STAR Racing × RACING GEAR	SILVIA
10	46	末永 正雄	D-MAX RACING TEAM	SILVIA
11	88	川畑 真人	TEAM TOYO TIRES DRIFT	GR86
12	11	村上 満	Repair Create × 326power	GR86

2023年単走シリーズランキング

Rank.	No.	Driver	Team	Car
1	66	藤野 秀之	TEAM TOYO TIRES DRIFT	GR86
2	2	田中 省己	SHIBATIRE RACING SEIMI STYLE D	SILVIA
3	77	松山 北斗	+LenoRacing watanabe	GR SUPRA
4	31	蕎麦切 広大	SHIBATIRE RACING	Q60
5	70	横井 昌志	D-MAX RACING TEAM	SILVIA
6	46	末永 正雄	D-MAX RACING TEAM	SILVIA
7	45	Chanatpon Kerdpiam	GOODRIDE × NEXZTER	SILVIA
8	99	中村 直樹	TEAM VALINO × N-style	GR86
9	11	村上 満	Repair Create × 326power	GR86
10	18	日比野 哲也	SHIBATIRE RACING	GR86
11	98	ヴィトー 博貴	DRIFT STAR Racing × RACING GEAR	SILVIA
12	52	北岡 裕輔	TEAM MORI	MARK II

2023年チームシリーズランキング

Rank.	Team	RD.1	RD.2	RD.3	RD.4	RD.5	RD.6
1	TEAM TOYO TIRES DRIFT	6	2	6	6	26	26
2	+LenoRacing watanabe	15	3	20	3	6	20
3	SHIBATIRE RACING		10	3	26	6	10
4	D-MAX RACING TEAM	26	13	3	3	3	6
5	SHIBATIRE RACING SEIMI STYLE D	6	2	6	6	15	6
6	VALINO VAZESTRA		3	26	10		
7	TEAM VALINO × N-style	6		0	3	10	15
8	Repair Create × 326power	3	2			20	3
9	DRIFT STAR Racing × RACING GEAR	10	3	6	3		3
10	RS Watanabe SPEED MASTER	6	2	3		6	3
11	TMS Racing Team G-meister	3		10		3	3
12	GOODRIDE × NEXZTER	3	2	3	6	3	



D1 事務局 イベント報告

正式呼称：2023 GRANTURISMO D1 GRAND PRIX SERIES Round 5 & 6

開催場所：滋賀県・奥伊吹モーターパーク

主催：株式会社サンプロス

競技方式：ドリフト競技

公認：日本自動車連盟（JAF）

参加者数：D1GP 39 台

天候：26日；ドライ 27 日；ドライ/ウェット

延動員数：合計 4,410 名（3 日間合計、関係者含む）

次戦；10月28（土）、29 日（日）大分県、オートポリス国際レーシングコース